取扱説明書

日立浅深両用ポンプ用
日立深井戸ポンプ用

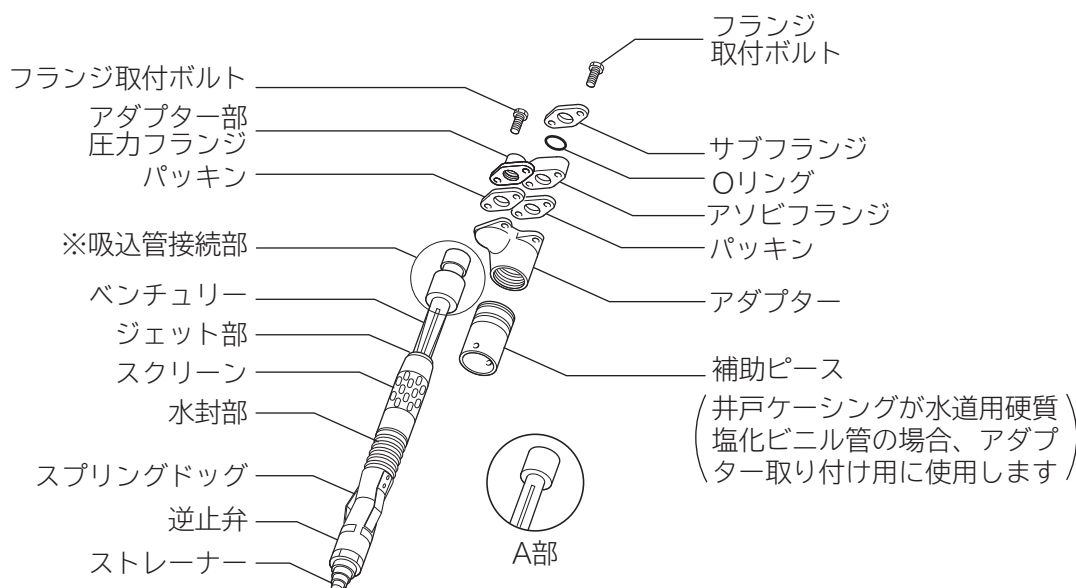
深井戸用シングルジェット

HITACHI
Inspire the Next

J15-12SW形・J25-18SW形・J40-24SW形

このたびは深井戸用シングルジェットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
お買い上げの部品は、「日立浅深両用ポンプ」「日立深井戸ポンプ」と組み合わせて使用していただくものです。

●据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
●この説明書は、ポンプ本体に付属している説明書とともに大切に保存してください。

部品の名称と使いかた

※吸込管接続部の形状は「J15-12SW」のものです。
「J25-18SW」および「J40-24SW」は、A部に示す形状です。

据付工事について（販売店様・工事店様用）

据え付け前の確認

■「ポンプ」と組み合わせる「深井戸用シングルジェット」の型式の確認

●ポンプを正常にお使いいただくために、下表の組み合わせになっているかお確かめください。
※圧力不足や揚水量不足などを防ぐためです。

使用できる吸上高さとポンプ本体の組み合わせ

ジェット型式	ポンプ出力	ポンプ型式	吸上高さ
J15-12SW	150W	CT-P	6m～12m
J25-18SW	250W	CT-P、CT-K	6m～18m
J40-24SW	400W、600W	CT-P、C-P、DM-P	6m～24m
	750W	CT-K、C-K、DM-K	

「ポンプ」と「深井戸用シングルジェット」の組み合わせ性能

150W(CT-P)との組み合わせ	
吸上高さ	12m
揚　水　量	13L/min (全揚程17mのとき)

250W(CT-P、CT-K)との組み合わせ	
吸上高さ	18m
揚　水　量	11L/min (全揚程28mのとき)

400W(CT-P、C-P、DM-P)以上との組み合わせ	
吸　上　高　さ	24m
非自動ポンプ全揚程	46m
揚　　水　　量	10L/min (全揚程35mのとき)

■井戸径の確認

●ジェット部を井戸内に入れるため、井戸径が制限されます。

井戸径は
- J15-12SW：40mm
- J25-18SW：50mm
- J40-24SW：50mm

ご注意

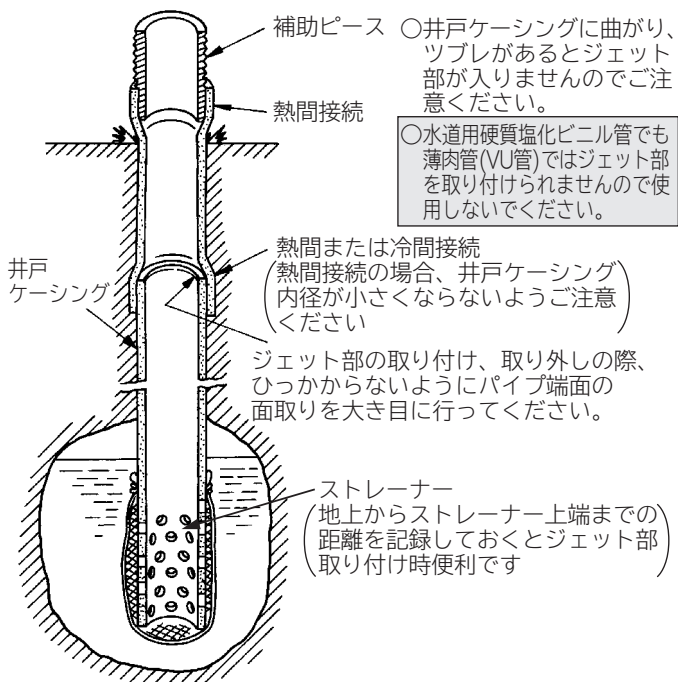
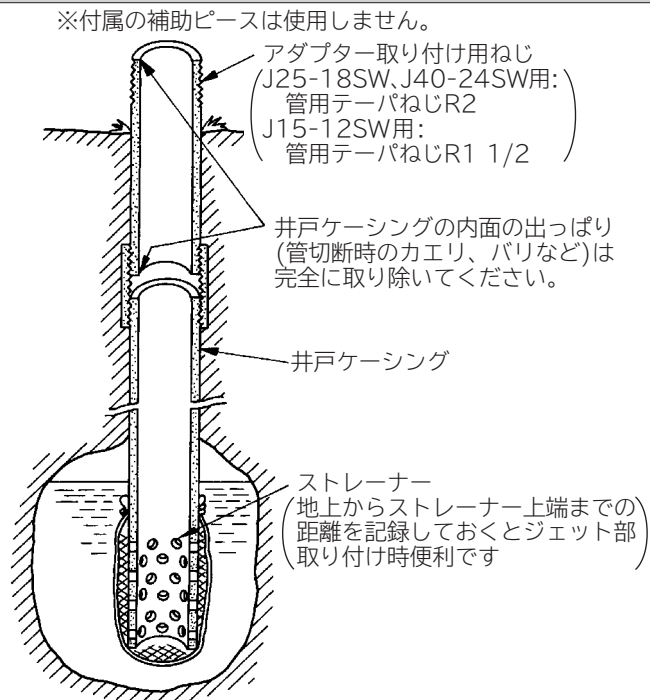
●井戸ケーシングは水道用硬質塩化ビニル管または配管用炭素鋼鋼管をご使用ください。
●井戸ケーシング内壁にサビ、カエリ、ツブレ、曲がりなどがあると使用できません。

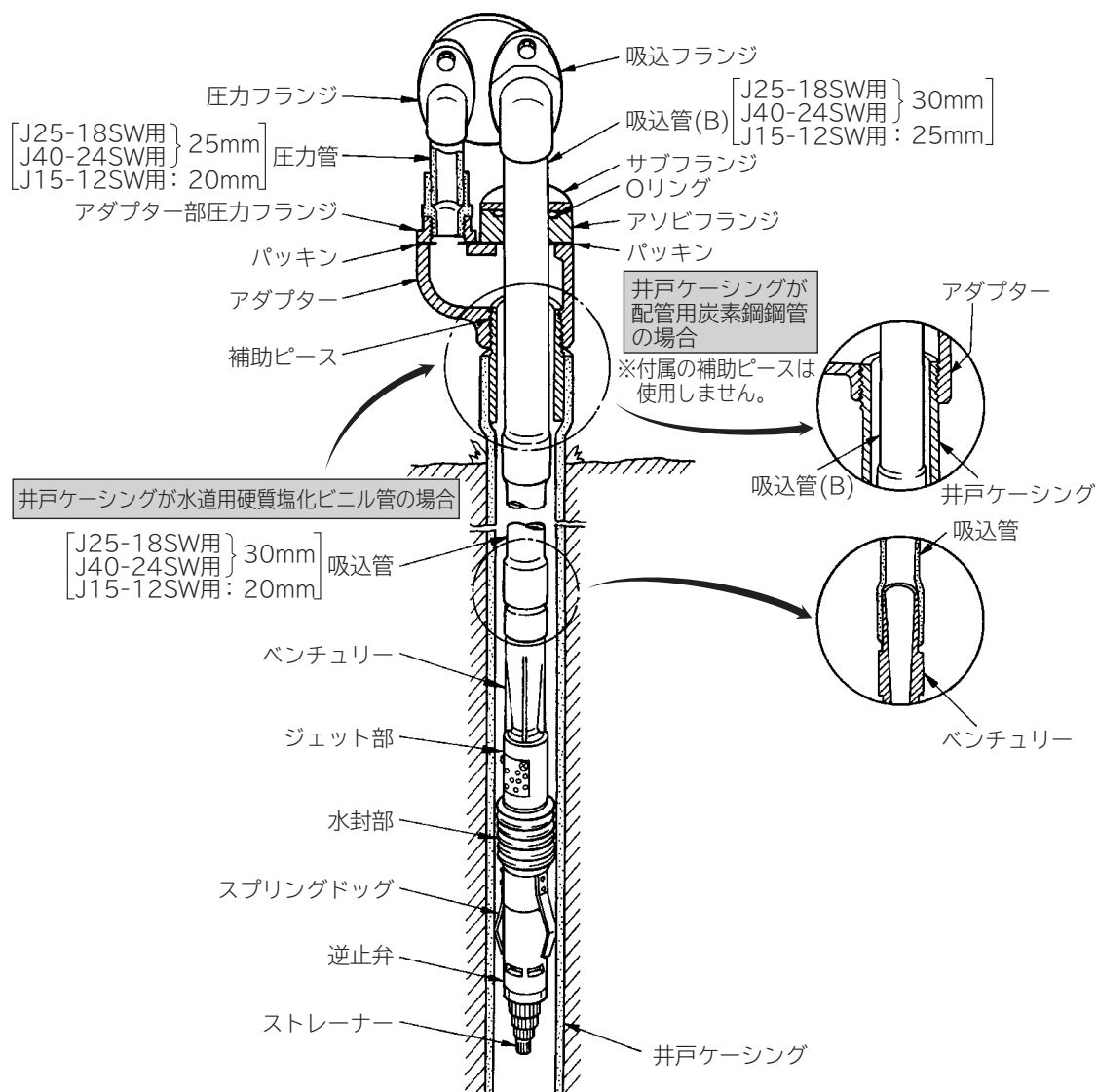
■井戸ケーシングに関するご注意

●シングルジェット用として新たに井戸を掘る場合は、特に次の事にご注意ください。

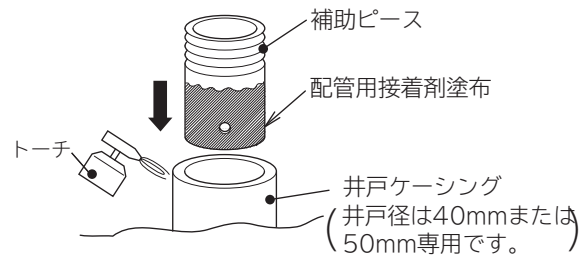
井戸ケーシングを水道用硬質塩化ビニル管(VP管)で行う場合

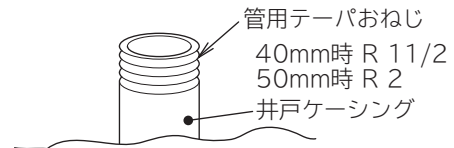
○井戸ケーシングに曲がり、ツブレがあるとジェット部が入りませんのでご注意ください。

○水道用硬質塩化ビニル管でも薄肉管(VU管)ではジェット部を取り付けられませんので使用しないでください。

井戸ケーシングを配管用炭素鋼鋼管で行う場合

※付属の補助ピースは使用しません。

配管工事について

1 井戸ケーシングに補助ピースを取り付けます。

●井戸ケーシングが塩化ビニル管の場合
井戸ケーシングをトーチなどであぶり柔らかくし、かつ補助ピースに接着剤を塗付したものを、補助ピースの長さの2/3位押し込み取り付けます。
（熱間接続）

補助ピース
配管用接着剤塗布
トーチ
井戸ケーシング
（井戸径は40mmまたは50mm専用です。）

●井戸ケーシングが配管用炭素鋼鋼管の場合
あらかじめ、鋼管の先端に「アダプター」接続用の管用テーパおねじを形成しておいてください。この場合は付属の補助ピースは使用しません。

管用テーパおねじ
40mm時 R 11/2
50mm時 R 2
井戸ケーシング

2 ジェット部に吸込管を接続します。

●アダプター・アソビフランジ部に位置する吸込管(B)は、「J15-12SW形」においては水道用硬質塩化ビニル管25mm(市販)を、「J25-18SW形」「J40-24SW形」においては同管30mm(市販)を50cm程度の長さに切断して、吸込管(B)としてアダプター貫通部に使用してください。

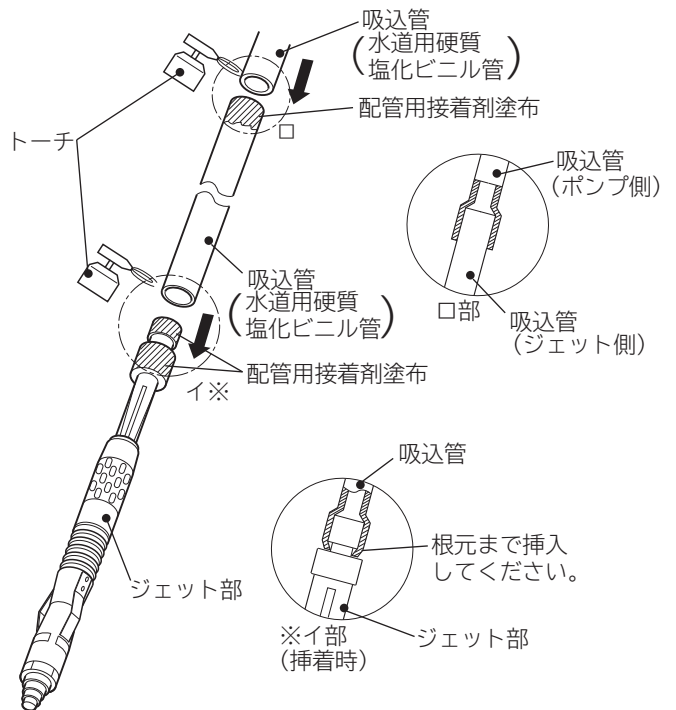
●ジェット部との接続および井戸中にある吸込管は所定の管径の水道用硬質塩化ビニル管をご使用ください。

J15-12SW形：水道用硬質塩化ビニル管20mm
J25-18SW形
J40-24SW形 } 水道用硬質塩化ビニル管30mm

●吸込管は熱間で接続してください。水道用硬質塩化ビニル管をトーチであぶり柔らかくし、かつ接続部には接着剤を塗布し、押し込んでください。

ご注意
●接続部には必ず接着剤を塗布してください。
●市販のバルブソケットで接続すると揚水量・圧力がでません。

●吸込管を井戸の深さに応じて、必要な長さの水道用硬質塩化ビニル管（市販・4m長）を準備し、熱間接続にて形成してください。ただし、図示ロ部のとおり、接続部はポンプ側が上になるように作業してください。

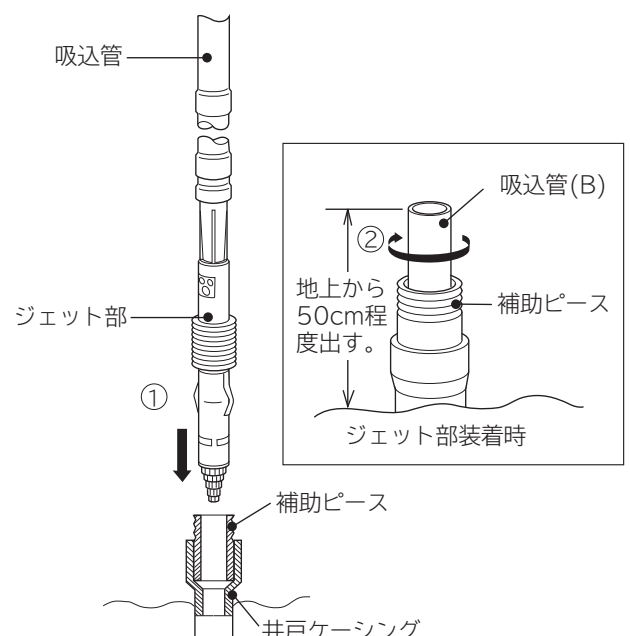
※イ部形状は「J15-12SW」です。「J25-18SW」「J40-24SW」は、1ページのA部に示す形状です。

3 井戸にジェット部を挿入します。

●ジェット部挿入前に吸込管を固定して、スプリングドッグを持って回転する事を確認してください。

① 井戸の中に、ジェット部を真っすぐに所定の位置まで挿入します。
挿入前にジェット部および井戸ケーシングの内面を水にぬらして行いますと、作業が容易かつ完全に行うことができます。

ご注意
●吸込管挿入作業中は回さないで作業を行ってください。挿入時回しますと、ジェット部水封部が広がり入らなくなります。

●据付場所の制限で所定長さまで吸込管が形成できず、2挿入作業中に吸込管を継ぎ足していく場合は、接続されたことを確認のうえ挿入作業を進めていってください。

② 所定位置まで挿入後、吸込管を右へかたくなるまで回します。（10回転位）
この作業でジェット部が井戸ケーシングに固定され、かつ水封構造となります。

4 ジェット部とポンプ本体を接続します。

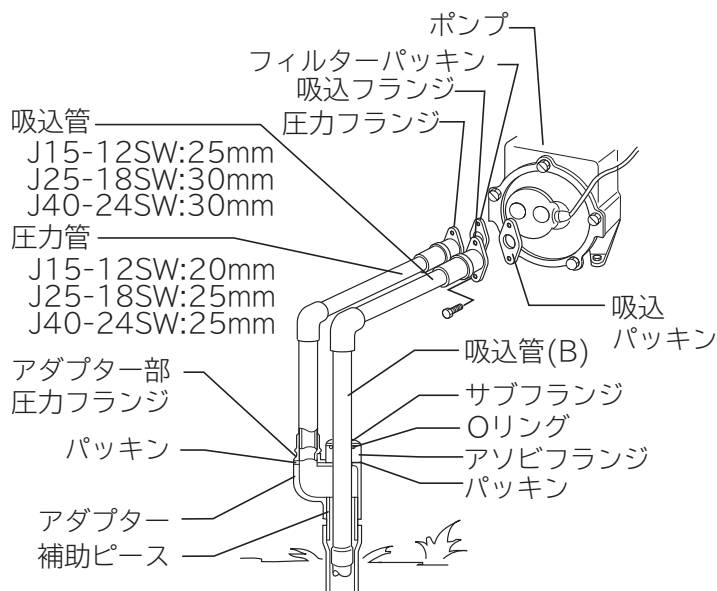
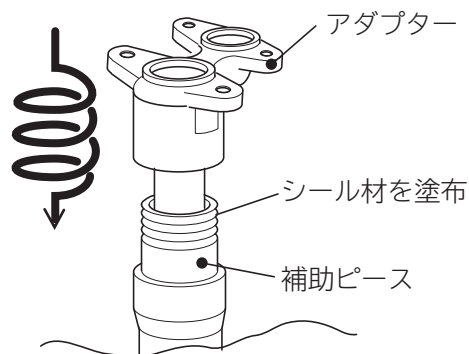
① 「補助ピース」のねじ部にシール材を塗布します。

② 「アダプター」に取り付けられている「サブフランジ」「Oリング」「アソビフランジ」および「パッキン」を取り外し、「アダプター」を「補助ピース」ねじ部にねじ込みます。
「アダプター」の方向は ④ の配管を考慮して決めてください。

③ 吸込管に元どおり ② で外した部分を挿入し、取り付けます。
アダプターとのねじ固定はここでは行わないでください。

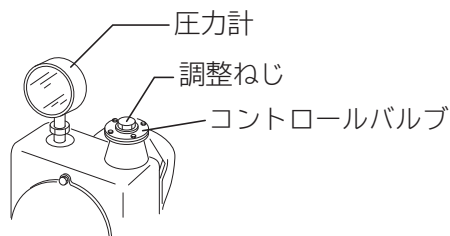
④ ポンプ本体に付属されている「吸込フランジ」と吸込管および「圧力フランジ」と「アダプター部圧力フランジ」を市販の水道用硬質塩化ビニル管・管継手により配管します。

> **ご注意**
> ● 3 吸込管は、ポンプとの配管位置関係で余分な部分を切断し配管してください。

⑤ ポンプ本体とアダプター部を接続するフランジをボルトでしっかり固定してください。

運転について

① ホッパーキャップを外し、吸込管、圧力管、ポンプヘッド内に呼び水をしてください。
② 吐出側のすべての水栓を開いて、呼び水口に圧力計を取り付けてください。
③ コントロールバルブの調整ねじを、ねじ部がすべて隠れる程度までねじ込んでください。
④ 電源を入れてポンプが異常なく運転するかどうか確認してください。
⑤ 運転開始後、数秒間で揚水します。
※吸込管・圧力管に空気があると、揚水しない場合があります。再度呼び水を追加してください。
⑥ 調整ねじをゆるめ、圧力を下表の値を目安に、音が静かになる位置に調整してください。
⑦ すべての水栓を閉じてください。
⑧ ポンプの停止後、水栓を開閉してポンプの起動・停止の状態や漏水個所がないかどうか確認してください。

ポンプ出力	250W	400W以上
コントロールバルブ調整圧力	100～130kPa	160～170kPa

●J15-12SW形の場合、コントロールバルブがありませんので、次のように行います。
① ホッパーキャップを外し、呼び水をしてください。
② 吐出側の水栓を1か所開いてください。
③ 電源を入れて、ポンプが異常なく運転するかどうか確認してください。
④ 運転開始後、数秒間で揚水します。
⑤ 水栓を開閉して、ポンプの起動・停止の状態や漏水個所がないか確認してください。

この製品は日本国内用です。海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12